

市駅前ストリートガーデン「しえきのにわ」を拡張！

前号でご報告したように、市駅前通りに昨年より設置しているストリートガーデン「しえきのにわ」の拡張計画が、2024年度の「緑の環境プラン大賞」(ポケット・ガーデン部門) 国土交通大臣賞を受賞しました。この受賞と費用助成を受け、今年の2月に、両側の歩道に新たに4か所のガーデンを地域の皆さんと協力して整備しました。今後も緑を感じながらくつろげる空間として改善や工夫を行いながら、歩行者空間のさらなる魅力向上を進めていきます。

拡張に合わせて、2月22日(土)に伏虎義務教育学校の小学生10人が参加し、花植えワークショップを実施しました。プランターに土を入れた後、パンジーやマーガレットなどの花を選んで植えてもらい、芝生のブロックも配置してもらいました。最後に参加した子どもたちに「しえきのにわ応援隊」の隊員証を授与しました。子どもたちからは楽しかったという声が多く寄せられ、活気ある雰囲気の中で、しえきのにわを大きく広げることができました。

市駅前通りのイルミネーションにあわせて「SHIEKI X' mas NIGHT FESTA」開催！☆☆☆

2023年からけやき大通りで開催されてきた「けやきライトパレード」の点灯エリアが、今年は市駅前通りを経て市駅まで拡大したことから、12月20日(土)に「SHIEKI X' mas Night Festa」を開催しました。会場では豪華景品を用意したスタンプラリーを実施し、市駅前広場から市駅前通りを回遊してもらうことが出来ました。市駅前広場では、寒い夜にぴったりのポトフや様々なキッチンカーが出店したほか、沿道店舗では小さなクリスマスツリーをモールド作るワークショップを開催し、幅広い世代の方々に楽しんでいただくことができました。



▲しえきのにわの花植えワークショップの様子



▲ミニクリスマスツリーづくり体験



▲サンタクロースのフォトスポット

ご報告

2014年秋に市駅周辺の商店街・自治会と私の研究室により「市駅まちづくり実行会議」を立ち上げ、同組織が発行主体となり、私の研究室が編集を担当する形で、同年12月に「市駅まちづくり通信」第1号を発刊してから、早いもので11年が経ちました。その間に、市駅前通りを歩行者広場化する社会実験をはじめ、「シエキノカワでピクニック」や「市駅まちぐるみミュージアム」、市駅のリニューアル後は、駅前広場でのイベントなど、活動が着実に発展してきました。また2018年には、実働組織として(一社)市駅グリーングリーンプロジェクト(市駅GGP)を設立し、公民学連携によるまちづくりを推進してきました。これらの取り組みを地域に発信する媒体として本紙を発行してまいりましたが、私事ながら、2026年4月より國學院大学観光まちづくり学部にて転任することとなり、和歌山大学観光学部研究室(ゼミ)は今年度をもって閉じることとなりました。

今後、私自身は市駅GGPの一員として関わり続けるとともに、和歌山大学では市駅GGPとともに活動する新たな学生チームを立ち上げ、ゼミ生の活動を引き継いでまいります。本紙の今後については未定ですが、市駅周辺のまちづくりを前進させるため、さまざまな形で協力いただけると幸いです。

和歌山大学観光学部 准教授 永瀬 節治

編集後記

今年は花植えワークショップに始まり、河西橋イベントやX'mas Night Festaなど、例年以上に地域の方々と交流する機会が多かった一年でした。世代を超えて多くの方々と交流し、皆様の笑顔やまちへの愛着を感じることができ、私たちにとってもかけがえのない経験となりました。ご協力いただいた関係者の皆様、そして何より会場へ足を運び、暖かく応援してくださいました地域の皆様に、この場を借りて、心より感謝申し上げます。

今年度をもって永瀬准教授が転任されるのを前に、11月に「研究室」という枠組みを超えて集まった意欲ある有志学生が加わり、「市駅まちづくりLPP(地域連携プログラム)」を立ち上げました。体制は変わりますが、これまで以上に大学生らしい活発さと自由な発想を活かし、市駅周辺のさらなる活性化に向け、活動を引き継いでまいります。

今後とも、私たちの活動に変わらぬご支援とご参加のほど、よろしくお願いいたします。

和歌山大学観光学部永瀬研究室 3回生 佐藤 静香

市駅まちづくり通信 20

市駅エリアの魅力を紡ぐ取り組みを、次なるステージへ

第20号 2025.12.30 発行：市駅まちづくり実行会議 編集：和歌山大学観光学部永瀬研究室



「シエキノカワ」の可能性を発信する8年目の試み

市駅近くの紀の川河川敷を「シエキノカワひろば」と名づけて活用する取り組みは8年目となりました。今年は下流側で進められていた河西橋の架け替え工事が完成し、開通記念イベントとして8月17日(日)に「橋を渡ってシエキノカワで遊ぼう!」を開催しました。旧河西橋にも光を当て、パーティーバイク乗車体験をはじめ様々な企画を提供しました。

10月26日(日)には、恒例の社会実験「シエキノカワでピクニック&キャンプ」を実施しました。カヌーなどのアクティビティや子供向け体験コンテンツなど、多彩なプログラムを提供しました。当日はあいにくの空模様で雨が強まる場面もありましたが、音楽ステージでは雨対策をしながら、出演団体に最後まで会場を盛り上げていただきました。4年目となる宿泊キャンプは、3組8名の方に参加していただきました。



ストリートガーデン《しえきのにわ》の充実化

2024年春から設置している市駅前ストリートガーデン『しえきのにわ』の新エリア拡張に伴い、2月22日(土)に子ども向けの庭づくりワークショップを開催しました。地域の子どもたちが参加し、みんなで力を合わせて花壇と芝生を設置してくれました。

12月20日(日)には、市駅前通りまで延長された街路樹イルミネーション「けやきライトパレード」に合わせて、夜の市駅前を歩いてもらうクリスマスイベントを開催しました。



河西橋開通記念イベント 「橋をわたって河川敷で遊ぼう！」 2025.8.17

8月17日（日）に、新たな河西橋の開通を記念した記念イベント「橋を渡ってシエキノカワで遊ぼう！」を開催しました。河西橋は、紀の川の北島橋と紀の川大橋の間に位置する歩行者・二輪車専用橋で、老朽化や幅の狭さから架け替え工事が進められてきました。

今回は野崎地区側で開催された和歌山市主催の開通記念式典と渡り初めに合わせ、市駅側の河西橋東詰の河川敷を会場として、旧河西橋のガイドツアーやパーティーバイク乗車体験のほか、事前予約制のBBQやキッチンカーの出店、紀の川の歴史や河川改修を紹介するパネル展示を実施。また、モルックやコーンホール、スーパーボールすくいなどの遊び体験、さらに冒険シャボン玉研究所による巨大シャボン玉のパフォーマンスも大きな賑わいを見せました。夏の暑さの中ではありませんでしたが、紀の川の心地よい風を感じながら、地域の歴史と新しい橋の魅力を体験できる一日となりました。



パーティーバイク乗車体験

今回の目玉として、旧河西橋でのパーティーバイク乗車体験を行いました。パーティーバイクはペダルをこいで進む9人乗りのユニークな大型自転車で、こぎ手の前にはドリンクホルダー付きカウンターが備えられています。心地よい川風を感じながら旧橋を往復し、ペダルをこぎながら景色を眺めたり、家族や友人と声をかけ合ったりと、終始和やかな雰囲気になりました。計7便がほぼ満員となり、旧橋での最初で最後の特別な乗車体験を、多くの方々にお楽しみいただきました。



旧河西橋ガイドツアー

建築家・中西重裕氏の案内により、旧河西橋の歴史や周辺の近代化遺産に関するレクチャー、旧河西橋の「渡り納め」と旧加太線の跡をたどるガイドツアーを実施しました。朝早くから多くの方々にお集まりいただき、ツアー後は開通記念式典や、新たな河西橋の「渡り初め」にもご参加いただきました。



シエキノカワでピクニック&キャンプ 2025.10.26

ピクニック / キャンプ

今年も川のほとりに畳ベンチやハンモックなどを設置し、憩いの空間を設けました。ハロウィンのバルーンアーチやおばけのバルーンなどの飾り付けも行いました。軽食や会話を楽しむなど、家族や友人とゆったりと過ごす様子が見られました。また、前日からの宿泊キャンプには3組のご家族が参加され、夜のBBQや、翌日もデイキャンプをお楽しみいただきました。



アクティビティ

今年もエディカヌースクールのご協力による紀の川でのカヌー体験を開催し、普段見られない眺めを楽しんでいただきました。会場内ではコーンホールや「育ちのえきくすのき」のブースでの紙芝居、日本けん玉協会によるけん玉体験、地元の消防団による消防服の着用体験を実施しました。



さらに今年は、BBQコンロを使った炭火焼き団子づくり体験を企画しました。串に刺したお団子を炭火でじっくり焼き、きなこ・あんこ・みたらしのたれをつけて味わっていただくものです。珍しい体験ができた子どもから大人まで楽しんでいただきました。

音楽ステージ

日本けん玉協会和歌山支部の皆さんの素晴らしいパフォーマンスから始まった音楽ステージ。午後は雨模様となりましたが、急ぎょ設置したテントの下で、和歌山大学ジャズ研究会 Uncle Jam、アカペラサークル和音、ジャズ研究会のOBバンド Jazz tadpoles の3団体が出演し、雨をはねのけるような素敵な音色を響かせました。



河西橋の歩み



旧河西橋は、大正3（1914）年に加太軽便鉄道の紀ノ川橋梁として架けられました。昭和17（1942）年には南海加太線となりますが、同19年には紀ノ川駅経由の現在のルートも完成します。昭和28（1953）年の水害により橋脚が損傷して営業が休止され、同30年に北島・和歌山市間が廃止されました（支線となった東松江・北島間は同41年に廃止）。昭和32（1957）年には和歌山市の道路橋に転用され、同40年の台風被害からの復旧を経て、歩行者・二輪専用橋として使用されてきましたが、令和7（2025）年に架け替え工事が完成しました。新たな河西橋の途中にあるバルコニーには、旧橋脚の石材を活用したベンチと、歴史の案内板も設置されています。



▲鉄道橋を転用して使用されてきた旧河西橋

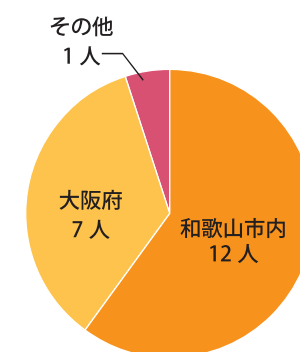
<河西橋関連年表>

年	出来事
1903	南海紀ノ川橋梁（現・上り線）竣工 和歌山市駅開業
1912	加太軽便鉄道（和歌山口（紀の川対岸の北島）～加太）開業
1914	加太軽便鉄道紀ノ川橋梁（後の河西橋）竣工 →和歌山市駅へ乗り入れ
1930	電化（加太電気鉄道に社名変更）
1942	南海鉄道に合併。南海加太線に
1944	松江支線（紀ノ川・東松江間の現加太線ルート）開業
1950	ジェーン台風による被害 →復旧
1953	水害により橋脚が損傷。営業休止。
1955	加太線北島・和歌山市間廃止
1957	和歌山市の道路橋に転用（改修工事完成）
1965	台風により橋桁流失 →1967年復旧
2015	架け替え工事着工
2025	新橋梁の供用開始

アンケート結果

今年度の「シエキノカワでピクニック & キャンプ」は悪天候にも関わらず、延べ75人の方々にご来場いただき、そのうち20人の方々にアンケートにご回答いただきました。

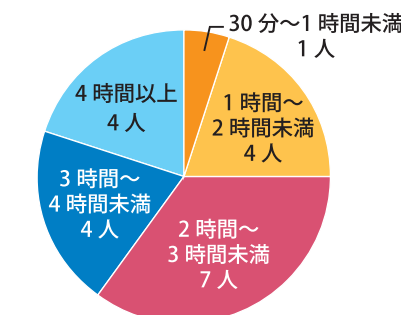
Q. 回答者の居住地



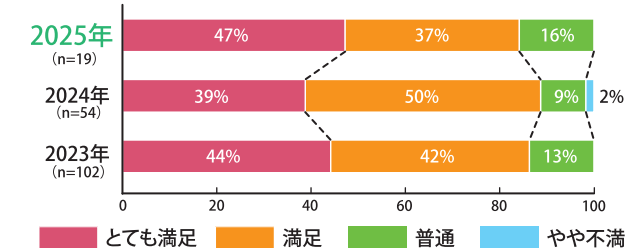
居住地は大阪府の割合が例年より高く、滞在時間は2時間以上が多くを占め、平均値は過去最長の2時間42分となりました。回答者には主催者の友人・知人や大学の関係者が含まれていることも影響していると思われます。

Q. 滞在時間

※滞在中の場合は予定時間を回答。



Q. 全体の満足度



回答者は限られますが、今年も「とても満足」「満足」合わせて8割以上を占めました。自由記述では、雨の中でも体験や音楽演奏、会場の雰囲気が良かったという感想が見られました。

今回の社会実験のアンケート結果(全体版)は
(一社)市駅GGPのWebサイト「しえきのいま」
のレポート記事にて公開しています。
▶▶<https://shiekigpp.com/report/>